回転クオリア
「五月七日晴天
少しの不安
希望 高揚
老婆と少女が出会う
ねぇ
そこの貴方(あなた)？
髙橋ツトム氏絶賛！ 四季大賞受賞作は前後編の大ボリュームで登場!!
平穏と惰性(だせい)の端にある
未知との遭遇
貴方の体 私に
くれないかしら？

回転クオリア
前編
「貴方の体
私にくれない
かしら？」
老婆の願いが、少女を変えていく――。
2015
夏のコンテスト
四季大賞
秋州良屋

回転クオリア
円周率は!…3・1415 92653589793 2384626433……
躑躅 無花果 寄生木 芭蕉 銀杏 西瓜 白粉花 桔梗 葡萄 檸檬 胡桃 菖蒲 枇杷…………
1822年…
英国歴代王は ウィリアムI世 ウィリアムII世 ヘンリーI世 スティーヴンI世……
日本に生息する 天然記念物…トキ ライチョウ メグロ ……
…香川 愛媛 高知 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎……
……
……
…12代家慶 13代家定 14代家茂 15代慶喜
作曲家アラム・イリイチ・ハチャトゥリアン
富士山の標高 ②番の3776m
すごいねー 空ちゃん 全部憶えてるんだー
いつも本よんでるの?
最近 何して遊んだかな? あ 何か楽しかったこととかあるかな?
えっと…
あっ
う…あ
うぅ
うぅ…ん お腹すいた… …かも…
※この作品はフィクションです。実在の人物・団体・名称等とは一切関係ありません。

それも　もう遠い昔のことだけど

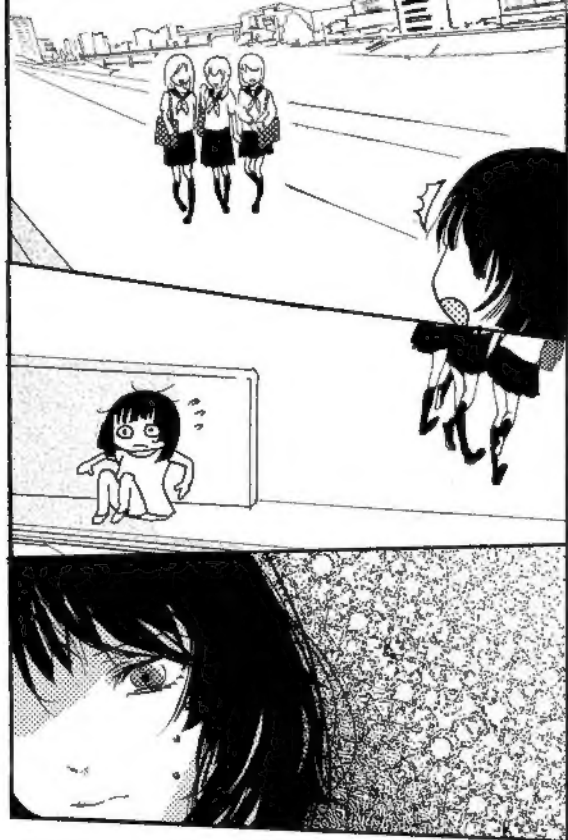
何やってんだろ

独りで

こんなとこで

ああ

もう消えてしまいたい…

まぁまぁ そうなの
ごめんなさいねぇ 独りで 河のほう見ていたから すぐ変なこと考えて しまってねぇ
ひぇっ えぇ…
やっ 全然 そんな…
…
青白い顔して 俯いて いたから…
やっ そのっ 散歩ついでに 川にお魚 いないかなーって… 思ってっ…
そうよねぇ いい天気だし
暦だと丁度牡丹の 花が咲く頃と 言うくらい だものねぇ…
えっ
あぁあ あの 七十二候 でしたら 今は 「蚯蚓出」の時期 です……
あらそう だったわね
年を取ると 物忘れが 激しくてねぇ
っていうか本当っ 死のうとか… そんなっ ななな ないですよ
5
家にやりかけの ゲームもあり ますし…
私の柵 ゲーム だけって…
あら! ゲームが 好きなのね 私はあんまり 分からないけれど…
ちょうど貴方くらいの 孫が一人いてね
話し相手が欲し かったたって事 なんかな…

身体をくれないかなんて言うから最初は驚いたけど
私の頃ゲームは双六だったのよねぇ
ええと…あら何だったかしらねぇ？双六の由来になった遊び…
あ…現存する中で最も古い双六は浄土双六とよばれるもので「宇治拾遺物語」の…
ほら…平安時代伝わった…
あ…それは昔の盤双六ですね少し賭博要素が強いですが…
今は人生ゲームとかありますけど…
あらぁそうなの
よかった別に怖い人じゃないかも…
成る程…
一つお願いがあるのだけど
あっはいっっ
私の身代わりになって欲しいの

丁度良かったわー
できたら若くて
可愛い子に
頼みたいものー
おっッ
鬼ババの家だあぁぁぁぁ
やっぱりだー
ヤッパリダーマー
変な人だったーワー
私 殺されるんだー
ヤダー
ヤダー
ギャオ
ちょっと待って
落ち着いて
別にとって食おうって
ことじゃないのよ?
ええとまずは
たとえ話
ある男が沼の近くで
運悪く落雷で絶命して
その時沼の中から
死んだ男のコピー
ができて…
エオ
スッ スワンプマン
ですか?
ドナルド・
デヴィッドソンの
同一性に対する
思考実験の?
哲学的ゾンビの?
ああ そんな名前だった
かしら?
とにかく 死んだ男の
記憶・知識を完全にコピー
した「存在」ができる
でその「存在」は
何事もなかった様に
死んだ男の家に帰り
日常生活を送ると
けれど 周りの人間にとっては
わからないでしょう
男が死んでいるか?
今 会話している男が沼から
生まれた「存在」だとか
ななるほど
ン?
なるほど?
記憶と知識が
人を創る
ということね
ッ

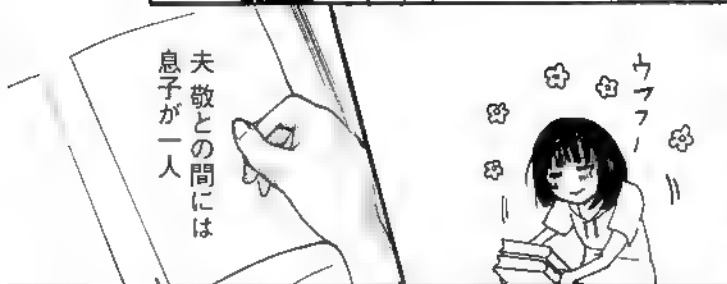
これが私
私を形成しているもの
私の記憶 私の知識
私の経験 私の思考
それを
すべて
貴方に憶えて
もらいます

さっき話してみて
よく分かったわ
あなた物知りだし
記憶力良いのねぇ
はかられた⁉
ええぇ
むむー
無理…
…私の死後7日だけ
私の振りをして
孫に遺産を渡す
それだけでいいから
どうか
何でもします
失礼でなければ
お礼も
えぇう
…
どうか
お願いします
ワーッ
ややめてください
やめてください！
ななにもそこまで
しなくてもっ…‼
昔カッとなって
嫁に投げた
湯呑みが赤ん坊の
ときの孫にあたって
しまって
わ…
ヒドい…
16年前 嫁と孫2人に
この家を出て行かれてから
一度も会えていない
もし帰ってくるとしたら
私の葬式の時だけ
この16年
ずっと悔いている
自分の口から
孫に謝りたい
エえっ⁉
！

多分私にしかできない
今までのこと…
全部思い出せる
知っている
自分がどれくらい駄目だったかを
だからきっと
これからも
本当にっ
成り代わってもいいんですか？
私に貴方の人生も人格もくれますか？
貴方が望むなら全てどうぞ
では改めて
藤白依よ
「憑依」の「依」で「ヨリ」
よろしくね
そっ…そら…
冊田空です
「空っぽ」の「空」で「ソラ」
よろしくお願いします
それは握手？
えっ
ええ…
まぁ
…

ほわぁぁー
凄く凄い美人で可愛くてキレイですー
あ 朝ドラの主役みたいです――
あらぁ
でもそれが後々 泥沼の嫁姑劇を繰り広げる昼ドラ展開になっていくのよ
さあ それでは始めましょうね

とりあえずここまでね
あれ? これっていつパリに行って帰ってきたんですか?
ああそれは妄想よ 妄想日記
ちょっ
あの ここにある「愉しいチーハ」の「チーハ」って何ですか?
これよこれ 中国賭博ギャンブルよ
スッ スマホ!?
この日付と新聞の切り抜きがあわないんですけど……
あら後でまとめたから交ざっちゃったのね
そんなぁ じゃあ これはー
それじゃ お願い
はい

「藤白依」旧姓「幾江依」九一歳 1923年8月2日 大正12年生 血液型O型 身長145cm 体重43kg
飛騨の旧宮川村出身
紡績業を営む父庄一 妻セツとの間に生まれた五女 上に兄二人 姉四人
趣味 読書 紙人形
1928年5月7日 山中で迷子となり 2日後に隣人に発見される
1930年 聖徳太子 百円札の発行
1934年 9月21日 室戸台風接近 家屋一部が損壊
幼少時の一番古い記憶 当時非常に快活であったため兄康二に叱られていた
この兄とは年が近いため しばしば喧嘩した
1942年に長野県 女子専門学校 国語科に入学 大叔母の古河リツ宅で一時生活
日記二冊目 三冊目にも同様の記述あり
二十 4月28日 貿易を営む 藤白敬と結婚
翌々年には夫の敬と共に満州へ移り終戦一年前に日本へ帰国 名古屋 四日市と移り住んだ
すっ

凄ーい
パ
祝 完全記憶
えいえ
そんな程でも…
って アレ？
薬玉？
ウフフ
夫敬との間には
息子が一人
あらやだ
待っててね
お茶の用意
してくるわ
おっ
お構いなく
ー
その息子も16年前に亡くなって 孫が一人
だからこそ大切で気がかりになっているー
今なら私にも
おばあちゃんの
気持ちが少し
分かります
うーん
子供
みたいな
感想だ

…よっ羊羹を
いただきますねっ
…
さよーなら
シュークリーム

ふっ

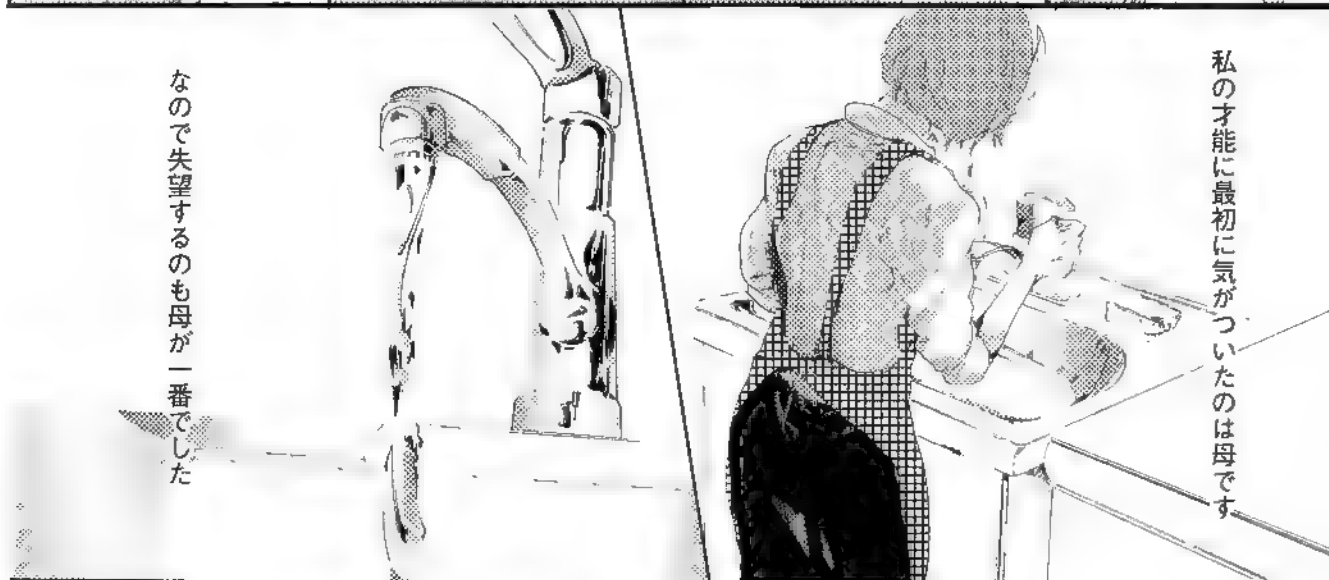
いいのよ
こっちのシュー
クリームも
食べて

えっ
いえいえ…
結構ですの
で…

遠慮しないで
ほらほら

えっ
いやー
そんな
…

誰かとこんな風に
話すのは

こんなに愉しいのは
初めて

私の才能に最初に気がついたのは母です

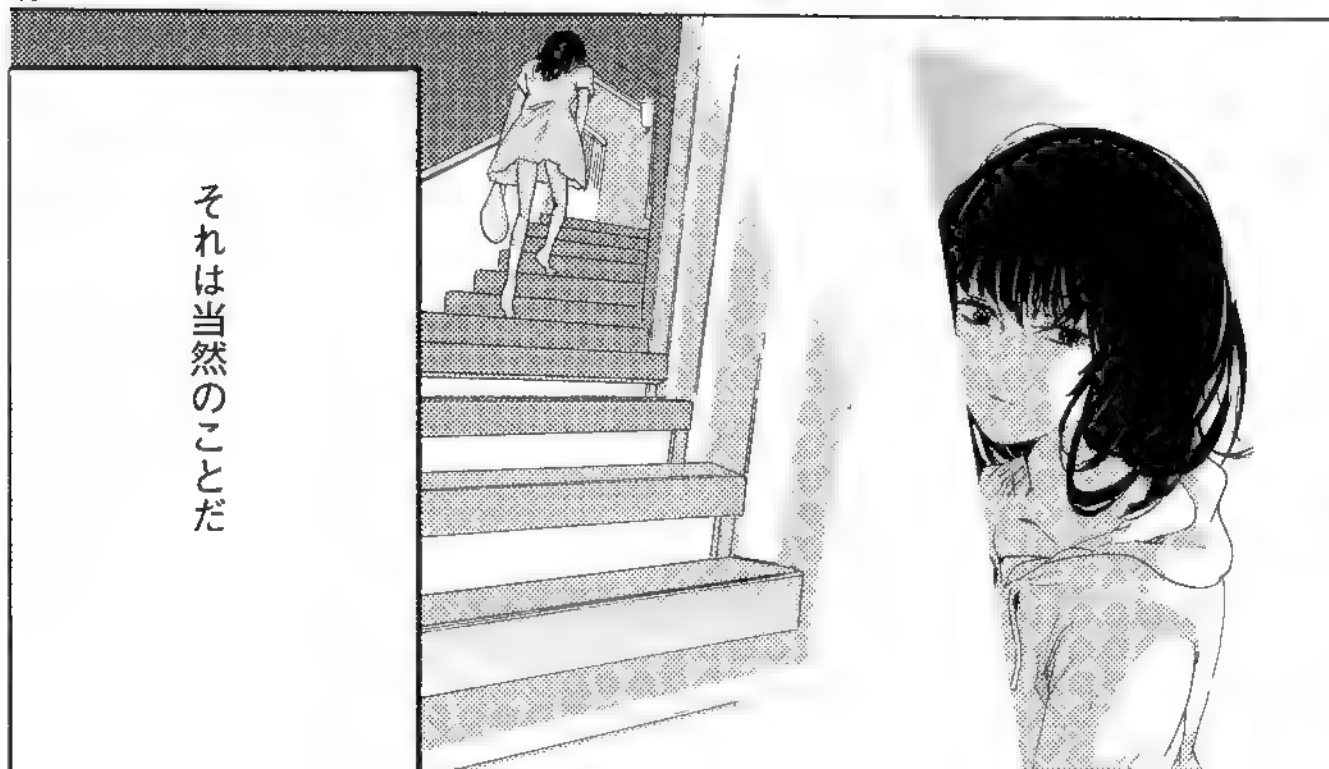
なので失望するのも母が一番でした

16

それは当然のことだ

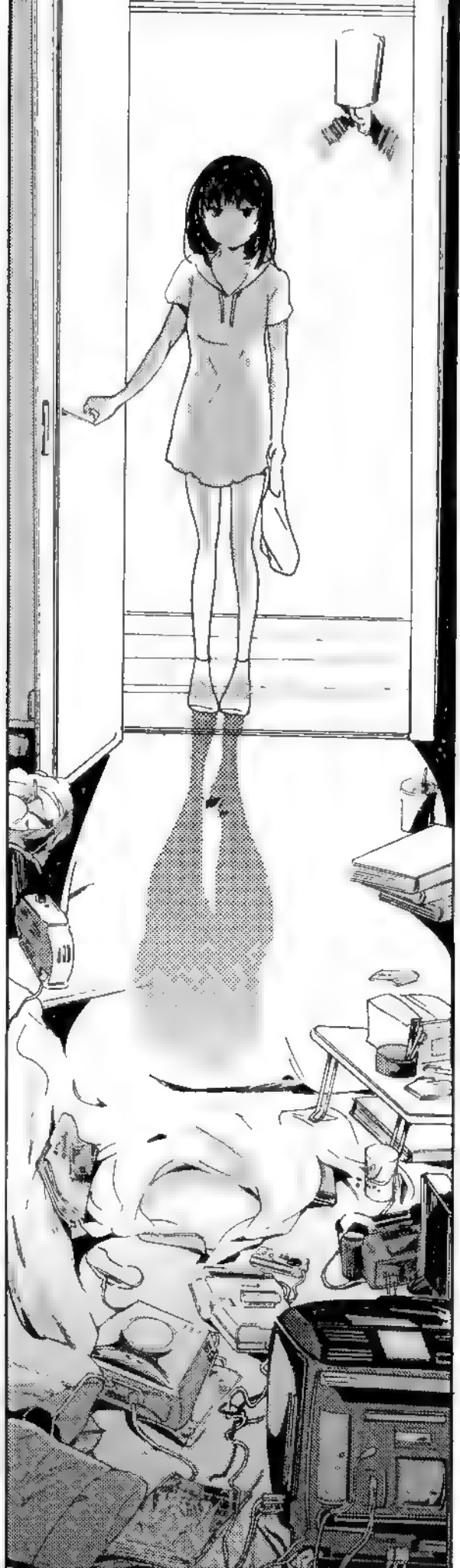
回転クオリア

それは私には関係ないこと

私はもう冊田空という
人間ではなくなるので
このくらいはなんてこと
無い

別に学校に行って
いようが
部屋で一日を
過ごしていようが

作者近況

秋州良屋

初めまして秋州 良屋です。最近飲み会に参加しないせいか友達にレアキャラ扱いされました。漫画描いて家から出なかっただけなんですが……これからも描きます！ よろしくお願い致します。

1988年6月
腎不全のため
市民病院へ一時入院
同月末日に退院 通院

7月1日
晴れ時々雷雨
当時入院患者の
後藤キヨさんと
書簡のやり取りが
始まる
7月7日2時
四季の会に出席
「四川」を発表

完璧!

パーン

ヒャッ!?

えっ なんでクラッカー

相変わらず凄いわね

いやー はは そんな…

でも

少し完璧すぎているかも

回転クオリア
え
当の私自身そうそう完全に記憶している訳じゃないのよ
勘違いしていたり遺却したり言い間違えたりまして時間が経てば風化も美化もする
ええとそれこそ…
各個々人の概念 基準感覚…
クオリア…ですか…？
ふむ
そうね それが今一番の問題ね感覚これぱかりは時間をかけても身に付かない可能性もあるしね
例えばこのお茶
貴方が「苦く」て飲めなかった様に感覚は意図的に変更は難しいのかも

馬鹿だなあ私
そんなこと気付きもしなかった
本当私考え無しで
また…
でも
大丈夫よね
え？あ？
あ…
ええと…わたし…あ
あ…
違ち…！
違うんです！

回転クオリア
…っ私 完全記憶能力があって だから物を憶えるのは 簡単なんです 昔それで…地元の小さな TV番組にも出ました
頑張ったねー
偉ーい 頭いい…
周りから偉いとか 天才だって 言われて…
でも「それだけ」 だったんです 何でも憶える「だけ」の奴
空!? またなの!?
どうして ちゃんと点 とれないの!?
自分では何にも 考えられなくて 何にもできない 奴だってすぐに わかりました
わっかん ない
え・・・
?
そうなんかー昔 TV出てたらしいよ
じゃ超 頭良いの?
えーそうでも なかったよ 赤点とってたし
ってかあんま 喋んないしー 知らない
本当はただの 愚鈍な木偶 だって気付かれる のが怖くて
冊田さん だよね? えっと
お母さんから 聞いたんだけど昔 TVに出てたの?
あ 私は

そして何より
自分で自分が
信じられない
怖くて 何にも考えない
様にしてて っっ 逃げて…
ダメな人間でっ
私 自分以外の誰かに
なりたかった…っ
私には何にもできないんです
それなのに引き受けてっ
隠して…ごめんなさいっ
空ちゃん

私の計画したこのゲーム
キャラクターは貴方で
よかった
私は何一つ心配していないわ
何一つ不安にも思っていない
絶対やり遂げてくれる
絶対大丈夫だって思ってる
…っっ
う
うっ
うー
……

うわあぁぁぁあん

最近私はなんかおかしいのかもしれない

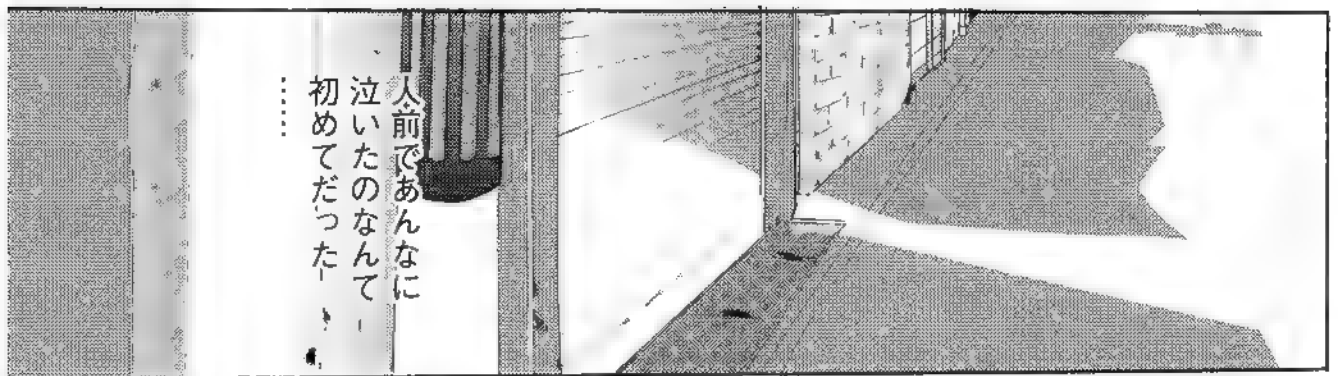
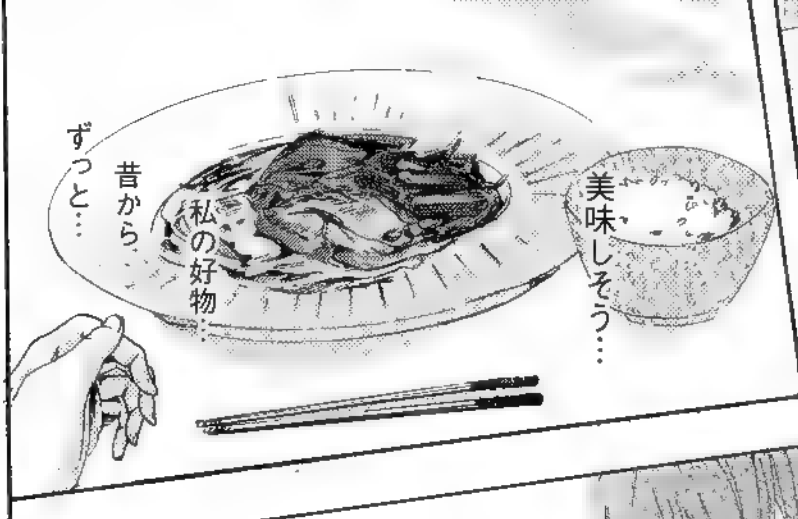
頭の中グラグラして いろんな音が遠くで響く

立っていても歩いていても

フワフワとして

自分で自分のしていることが分からない

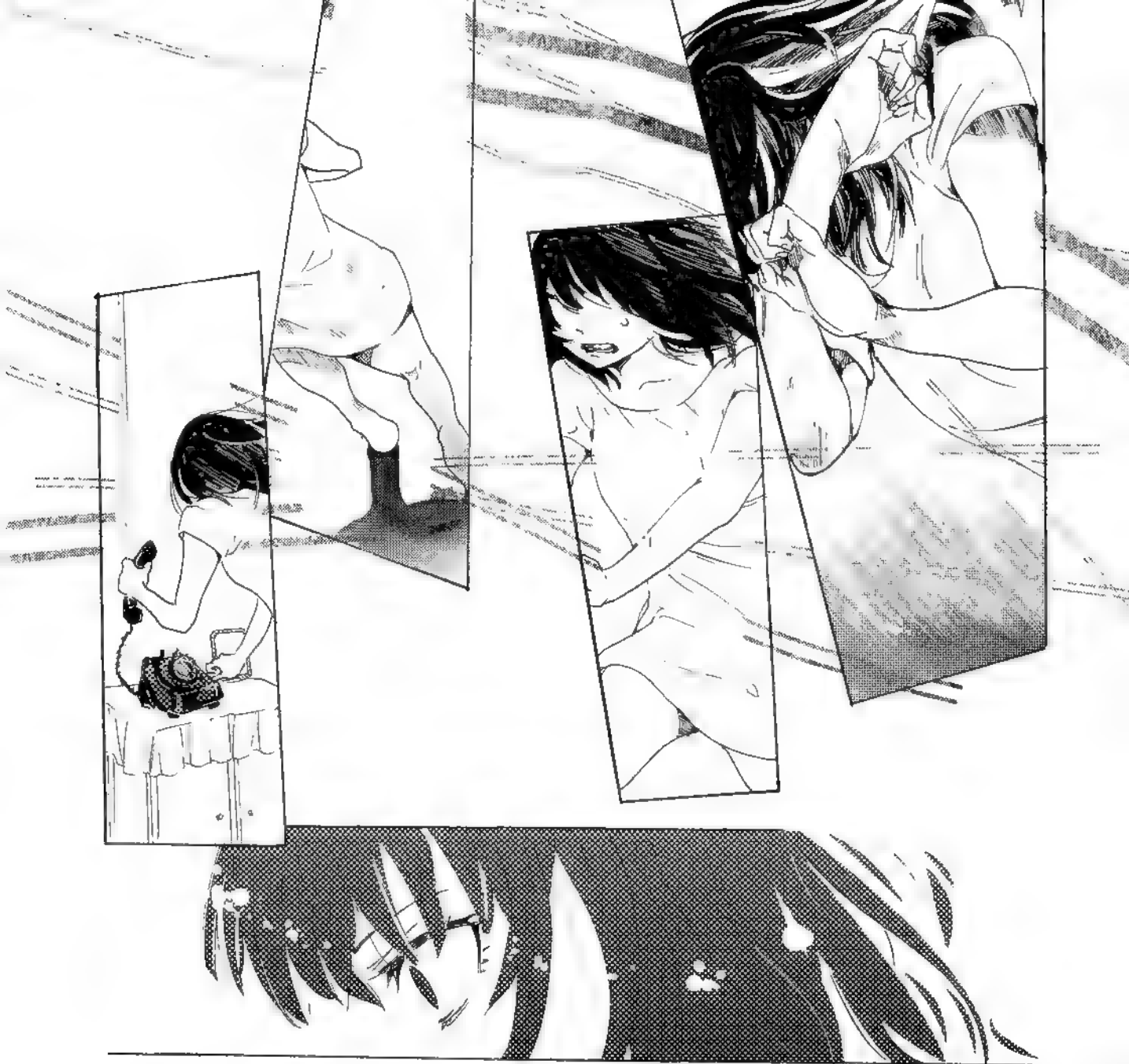
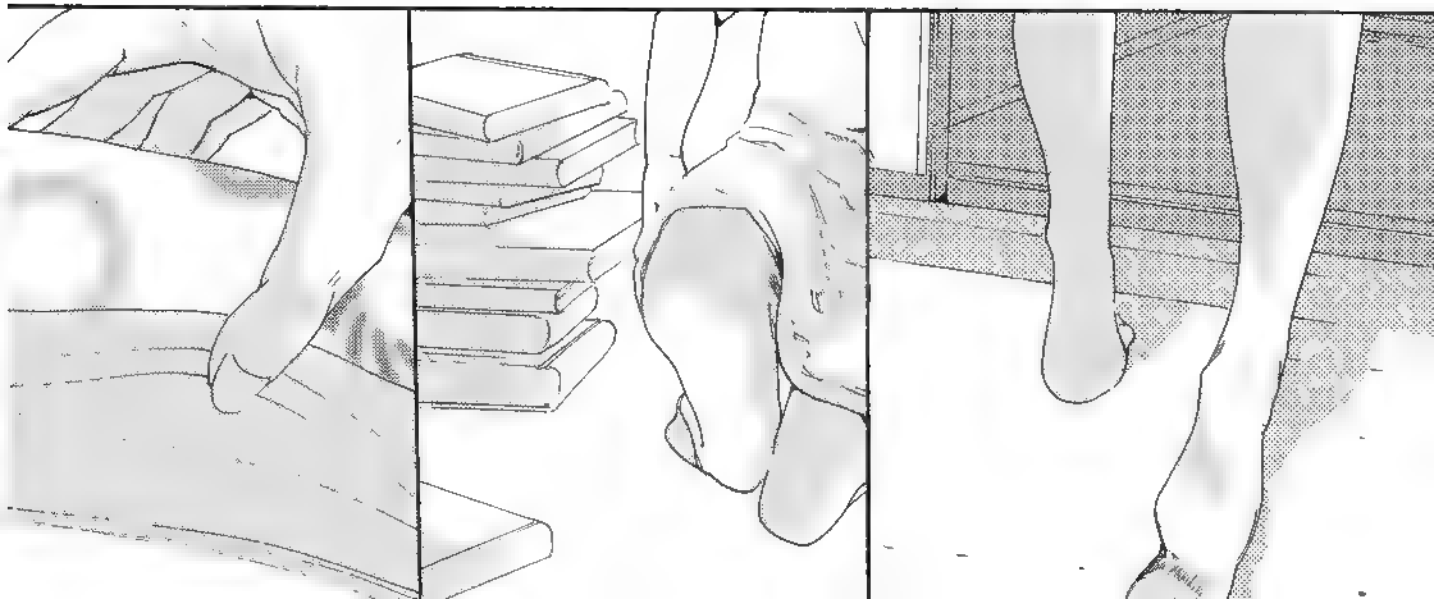
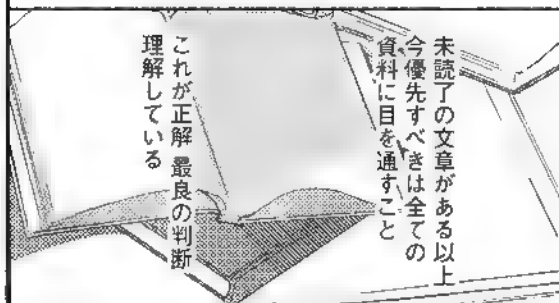
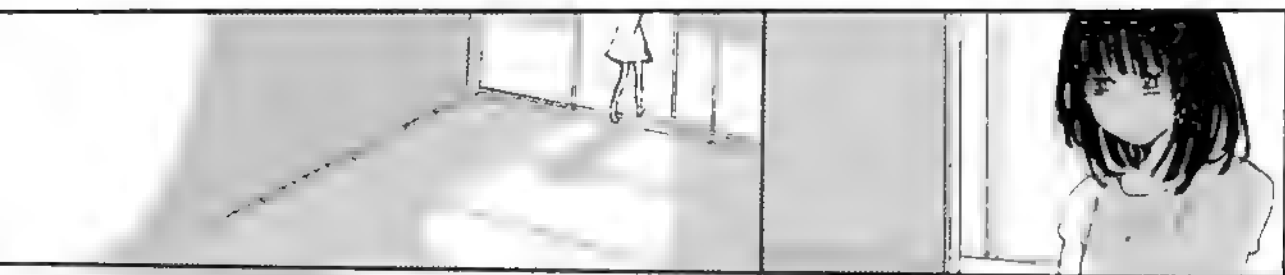
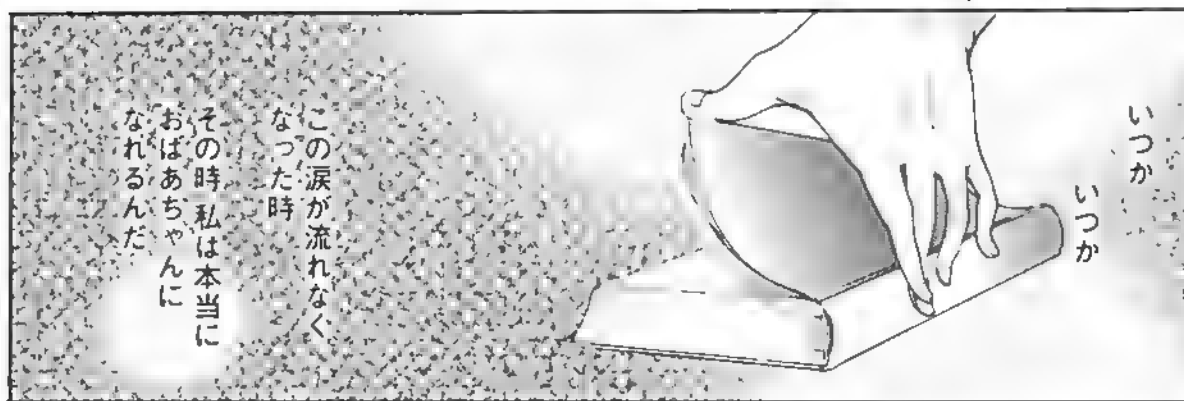
別の場所に居るみたいだ

家のにおい
温かいご飯
安常処順
空腹
鯖の味噌煮
美味しそう…
昔から
私の好物…
ずっと…
いつもありがとうね…
え
え
え…
えええええええ
今何を言ったあぁ!?
ええええ
ええっとこれはその
ちっ違うの！これは昔信州で食べた事があって懐かしさのあまり!!
いや信州へいったことはないだろう
間違えた！いや間違えてない！えっと
ぎゃおぉ
分かったから

落ち着いて食べなさい
心の中に流れ込む感覚と感情
自分を外から見ているような――
ああ とても心地良――
汚っ!!!
ぎゃ
ひゃ!
なんと汚く生活空間が狭い
おっ お片付けします…っ
これが本当に女子の部屋だろうか
なんとおぞましい
やめてー
自分ではない誰かの感情

私はその可能性に賭けたい

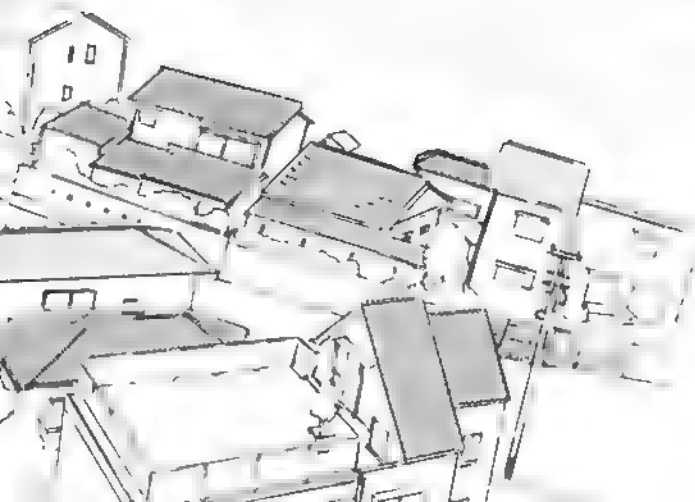
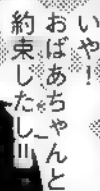
ガラ
〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜
たっ たっ だだだだいまー
まー…
……お邪魔しまーす……
ひょこ
おはようございま
すっ？
あ…まだ就寝中だったかぁ
調子乗って早く来すぎた
あぁぁ 張り切り過ぎ 恥ずかしいっ
あぁの すいません 先に私 書斎で一年分読んでくるのでっっ
えー…また後で確認お願いします
……っ
27

え?

――――――あ　　　　ダメ　ダメだ

今
誰かを呼んでは
駄目――
もし今電話をかけてしまったら
第三者に私の存在が知られたら 計画に狂いが生じてしまう
未読了の文章がある以上 今優先すべきは全ての資料に目を通すこと
これが正解 最良の判断 理解している
だから 平気なんだ

だから平気なんだ
悲しくなんかないんだ
うっ
つくっ…
ううわああああああん

新聞の訃報欄で私は通夜と葬儀の日を確認しました 場所は藤白家です

通夜のある日の午前 孫に会うために私は自宅を出ました

その瞬間からゲームは始まります

私はおばあさんになります

っどうっ……
どうしよう!
緊張してきた…
あぁぁわわわぁ
あわ大丈夫かな
あ駄目だなんか
不安になってきた
気分悪くなっ…
どうしよう
ちょっと……
帰りたい
かも…
いや!
おばあちゃんと
約束したし!!
大丈夫って
おばあちゃんも
言ってくれたし!!
生まれて初めて
メモも書いてきたし!!
気をつけること
時間間違える
昔のことは鮮明に話す
照れない!
大丈夫!
言うことは
決めてあるし!
練習
したし!
大丈…
う
私から話しかける!
孫を見つけたら!
孫がいたら
……

あれ？

でも 孫が必ず
帰ってくる保証は
どこにも
ないんだ？

あれ？
帰ってこなかったら？
居なかったら
どうするの？

え？
じゃあ終わり？

このまま？

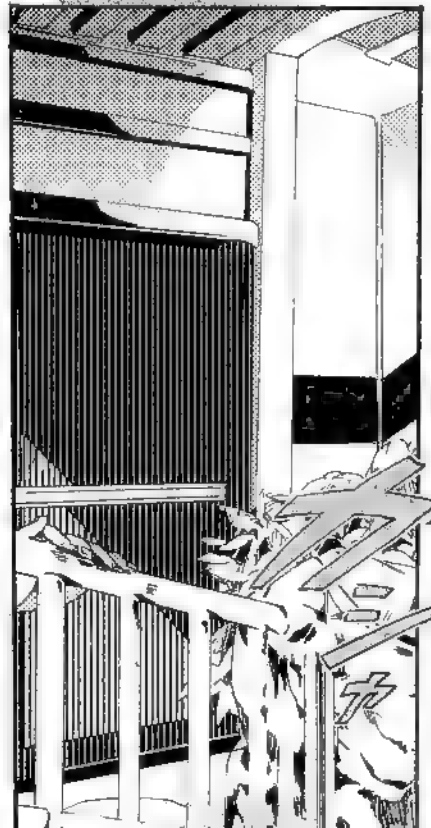
一言も伝えられ
ないまま

謝ることも
話すことも
顔を見ることも
できず

何にもできず

いやだ

耐えられない！

もう帰る!!

あ
ああ
本当に

会いにきてくれた

？えっと…？
会いたかった貴方にずっとずっと16年間ずっと…っ
っ会いたかった…

会いたかったよ 真
驚かないで聞いて 私は貴方の祖母の 藤白 依よ
え？ 何？
一目でもいいから あなたに会いたくて
絶対大丈夫なのだ と言う確信が 感覚が何故だろうか 頭の中に
前編 おわり

真…っ 真でしょう? 遠い所からわざわざ… 来てくれてっ
?
えっと…?

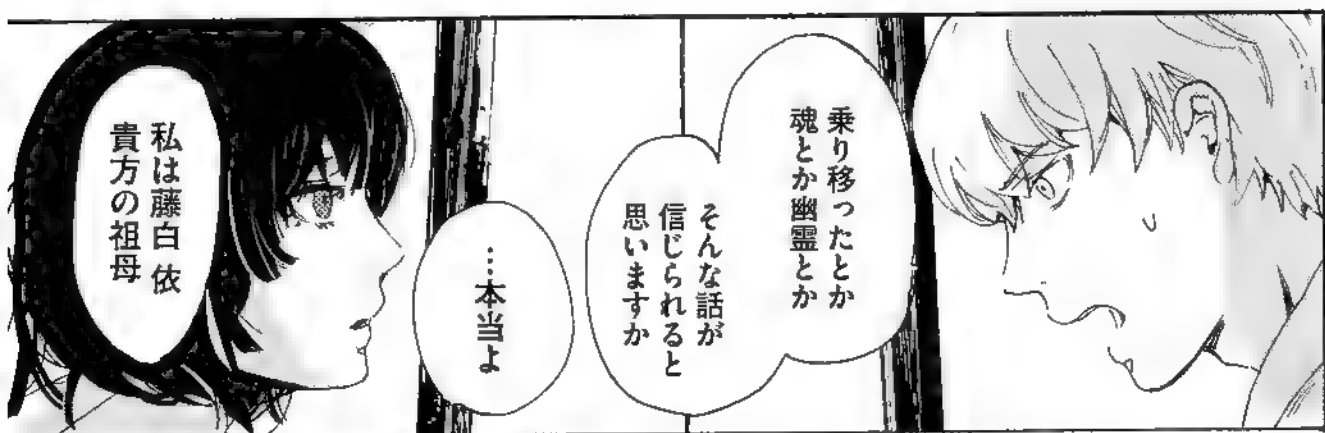
驚かないで聞いて 私は貴方の祖母の 藤白 依よ
信じて 私は真に会う為に 戻ってきた

本当に 本当に 長い間……
会いたかった――

秋州良屋
回転クオリア
後編

信じられません

乗り移ったとか魂とか幽霊とか
そんな話が信じられると思いますか
…本当よ
私は藤白依貴方の祖母

どう見ても祖母だとは思えませんし
冗談にしても少し失礼だと思います
真…

まあ そうなるよねー
私も最初何言ってるかわからなかったよ…
私の身代わりになって欲しいの
…私の死後7日だけ私の振りをして孫に遺産を渡すそれだけでいいから
え
何言ってるんですかーばれますばれます
大丈夫大丈夫
NO
私の記憶 私の知識 私の経験 私の思考
全て貴方へ
知識と経験が人間を創る周りの人間には人格が移っていようが演技していようが証拠提示はできないもの

はっ
——あの？
あっヤバイ 聞いてなかった
貴方誰ですか？ 憑依したとか そんな嘘ついて
祖母の知り合いですか？ 僕のこと何か聞いているんじゃないですか？
疑
はい 正解
カチャ
ぬーん… 「人を騙すには先手を打ってから相手に考えさせる！」と言うし ここは一旦相手に渡してしまった方がいいかな
…どうしたら信じてもらえるかしら
え？ どうしたら と言われても……
そっ こっちはこっちで嘘を本当だと思わせないといけないからっ
そのために証拠となるくらいの切り札をもっておかないとね
！そうだ もし本当に祖母なら
僕が生まれた日とその時起きた事言えますよね？
真の誕生日？ 16年前の5月18日の…
木曜日の午前10時45分
この日は……

水島病院
確か今はなく
なってマンション
になってるけれど
私は朝9時に
呼ばれて
タクシーで
駆けつけた
そうそう 助産師の
先生が別の用事で医院を
離れていたから急いで
呼んでねぇ
1時間
遅れてしまって
でもお父さんも
電車に乗ってたから
丁度良かったわ
あ…
そう言えば伯父が
あわてて病院の階段で
脚をひねって早速
病院へ行くことに
なったのよね
本当に大変
だったわ
ううん
今答えられることは
このくらいかしら?
あ…
当たって…
ます…
どっ どうして…
そんなに……
月刊アフタヌーン
電子版配信やってます!!
本誌とほぼ同じ内容
が電子版で読める!!
Amazon Kindleなど
各電子書店にてご購入できます!
電子版

嘘…
それじゃ本当に…
ばあさん？

やった!!
意外と早く
信じてくれた!!
…でも
何で憑依
なんて…
ぎゅ

まだ貴方は赤ん坊だった
から 覚えていないかも
しれないけれど
昔カッとなって
湯呑みを貴方に…
真にあてて
しまった…
それは…母から
聞いてます
その件が原因で
家を離れたと…

この16年
ずっとそれを
悔いていた
私はどうしても
会って直接
謝りたかった

そんな…

ばあさん…っ

いきなりこの姿で現れて「帰ってきた」なんて混乱させてしまうでしょうし
式が中断するかも
自分の葬式に興味はあるけれどね

全員が全員信じてくれるとは限らないでしょうから

あぁ
…はい
それではまた明日…

私は行けない…そういう事になっているから

真は…孫はおばあちゃんと会えた会えるんだ…
嘘でも演技でも
いいないいな
いいな

ぶんぶん
ややや そうじゃない
私にはっ大切な任務がっ
復唱ー
1、正確に演じ続け
正体を悟られない様に
務める事
2、没後6日後に
遺産を譲渡する事
うんうん わかってる
じゃないかー
おばあちゃんの知識記憶から
演算して思考をする!
ただし 言いよどみや
言い間違いの類いを会話の
端々に織り交ぜること
えー 個人の感覚 クオリアに
ついては細心の注意を払うこと!
決して私の「冊田 空」個人の
感覚に流されないように!
これを 心がけ
て……だから…
私の感情は表には
出さないこと

あ そうそう
私の葬式には
出席しなくていいわよ

自分で自分の
葬式を見てみたい
気もするけどね

いえっそんな
訳には！
必ず出席させて
頂きます

本人を目の前
にして言うのも
何ですがっ

おわわ

そう言っても
ねえ

部屋から
出て

お葬式だから
制服を着て

私の親類等の
知らない人に
挨拶したり

少し難易度
高くない？

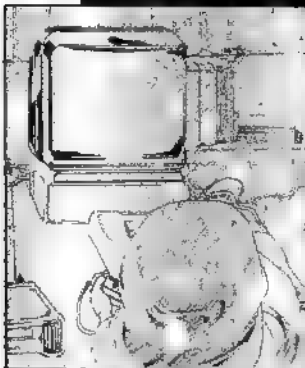
うーん

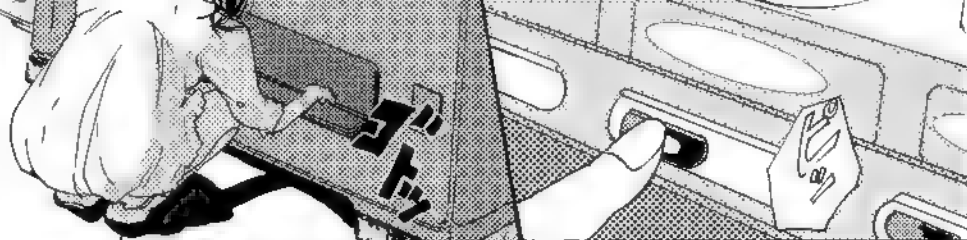
そ そこは
頑張ってっ！

いいから
そんなことは
気にしなくて

空ちゃんには
私の身代わりって大役
頼んでいるんだから
大丈夫よ

だから平気なんだ
くる
たっ
ごめんね
でも親類に見られても
少し面倒だと思って
それに外に出かけ
たくなっちゃって
今日はいい天気だからね
そう私6年前から
脚悪くしてしまって
あんまり外へ行く機会も
なくなってしまった
から特にね
やっぱり若いって
いいわねぇ
身体が軽いわ
……

かっっ会話が
会話が続かない
…どうもまだ慣れなくて…
ちょっと質問いいですか?
あら?なんでも聞いてね
その憑依してる子は誰なんですか?

ガハッ
おおおおおん
ええあ痛たた
いつか聞かれる
とは思ったけど
ああ
そうね
まだ説明して
いなかったわね
この借り物の身体
冷静に
おばあちゃんの
目線から
見るんだ
一言で
言うと
誰でもない子
私が死んで魂が
彷徨っている時
偶々橋の上で
見つけた子
消えたいって
呟いていたから
憑依し易かった
のね
死のう
ともして
いなかった
丁度年齢は
同じくらいね
でも高校へは
通学してなくて
ただずっと
目を閉じ
ていた
何も
考えて
こなかった
偶然 見つけて
丁度いいと
思ったのよ

あらなんだか幽霊の話になってしまったわね
真はどう？今高校生でしょう？何を勉強しているの？お友達は沢山できたかしら？
私は女学校…もう70年も前ねだったから
昔とは色々と変わってるって聞くけれど今の高校はどんな事をするの？
……

会話できてなかった
ゴトッ
ピッ
質問して返答返すだけじゃ何の意味もないのに
うぁ!?
誰っ!?
えっえっ?何?怖い人?不良!?絡まれてる!?
あっ
そうだ友達とかそうゆう
でさー喉渇いたんだけど金持ってね?

つか何？
制服？
うっわコレ
ブランド
じゃね？
どこの高校のだ？
この近くのか？
ップ！何これから
高校にも行く
気なのか？
あ
…
ちょっ
あ〜俺も
コーコーセーも
戻りテェよ
助けっ
助けっ
助けにいかないと…っ
助けないと…
…今は
……ちょっと
……
助けないと
いけないのに！
無理
私には——
できない
私じゃ何の役にも立てない
ごめん
ごめん
ごめんなさい………

こんにちは
っ…！
あん!?
誰？妹か？中学生…じゃねぇな高校生か？
あら！そう見える？高校生！そう高校生なのよ私ふふ
まぁまぁ！嬉しいわねぇ！
あ いとこなの私 従姉よろしく

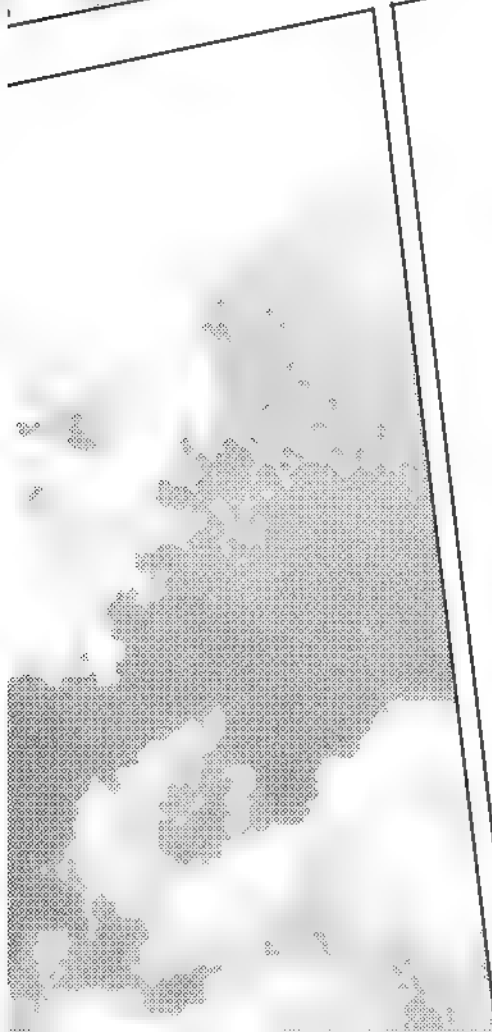
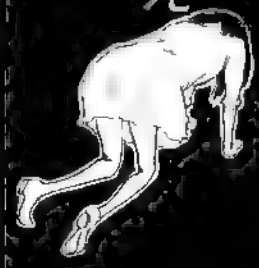
そうそう
お礼に
これさっき買ったの
だけどよかったら
二人で飲んで？
ね？
さて
それじゃ
私達もう
行かなくちゃ
ごめん
なさいね
もう少しお話
聞きたかった
けれど
それでは
また
何？で
誰アレ？
さあ…

ぎゃおううううええええ

ごおうう
お何を！

ペカーッ

個性的な人達
だったわね

ペッカ

私は一体何を！
何をしたんだ⁉
わからない！
あああああああ
怖かったよおおお

プッ

あっははは
ははは
何？ ぷはっ
さっきの！

っはは…凄いなっ
ははは ばっあさっ

ぷふふふ
はっははは

あ！
いや！

すいません
その

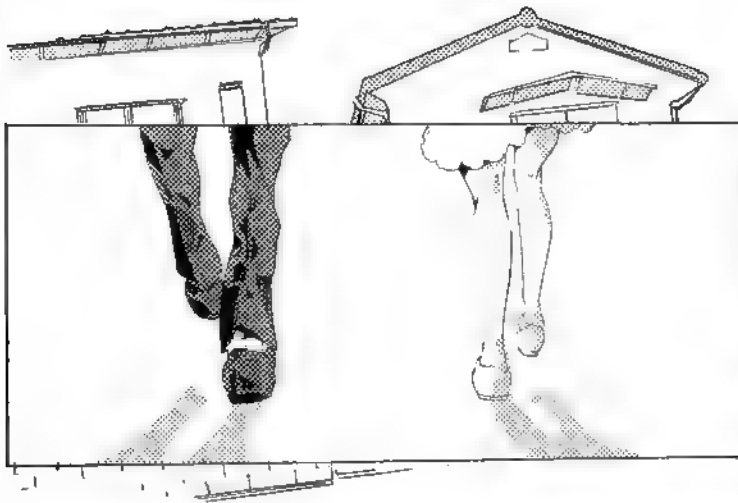
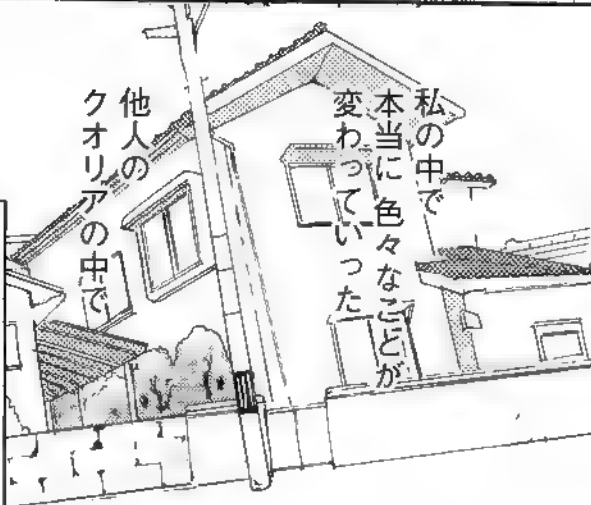
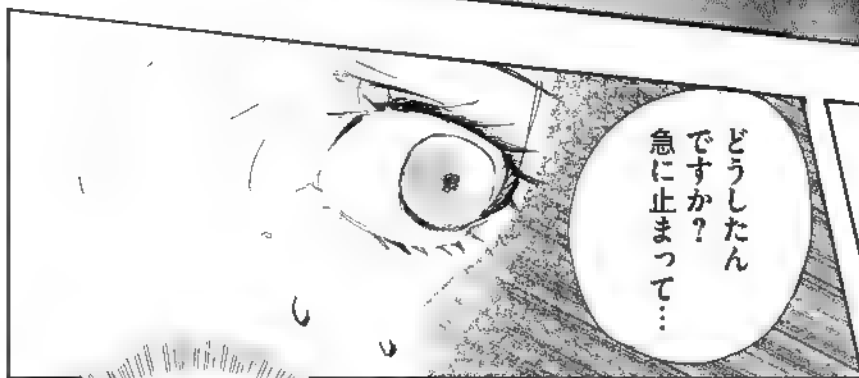
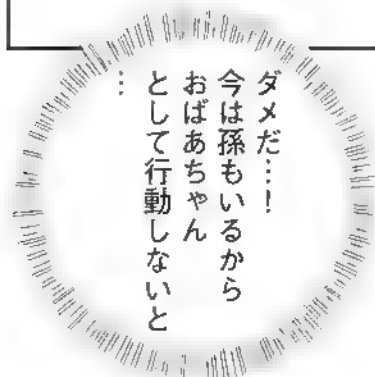
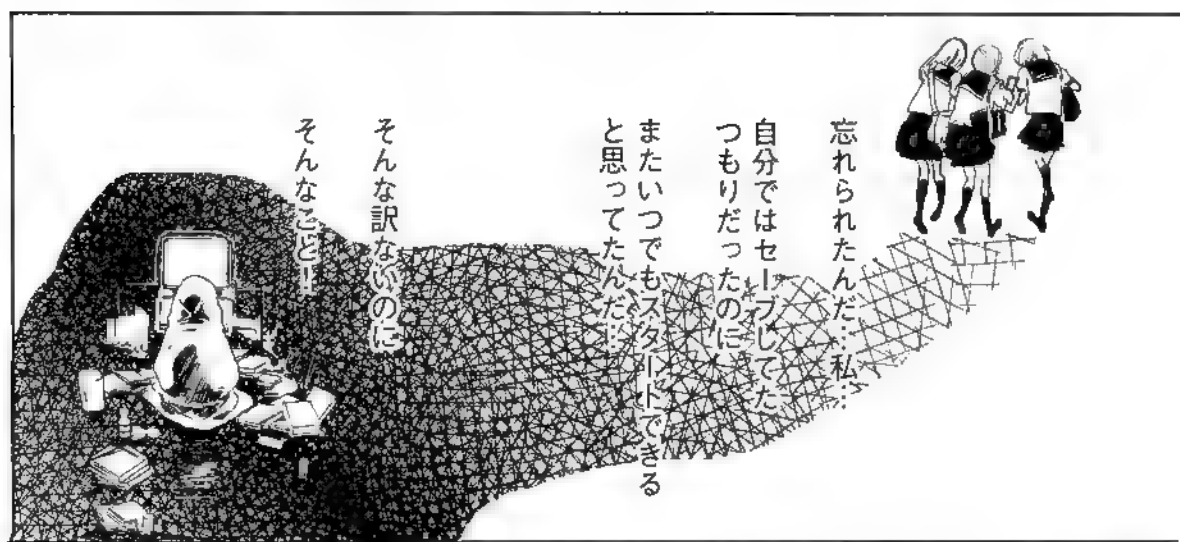
ぱっ

えっとちょっと
吃驚して予想外
だったていうか…

だって
「ねっ」
って……ふっ

おばあちゃんが
どんな人でとか
何を考えて
どうするか？

ちゃんと
伝えられるのよ
おばあちゃん
できたよ
私にも
できたんだ
もっと早く
おばあさんに
会って話して
みればよかったな
?
初七日
明日だから
もうすぐ
会えなくなっちゃうんでしょ

そうかもう
終わりなのか
…
ビ…
お別れ 寂しいな
まだまだ見て
いたかったけど
私の中で
本当に色々なことが
変わっていった
他人の
クオリアの中で
学校
行って
みようかな
あ いや
やっぱ…
しばらく…
む… いやでも
むむむ

わ!?
同校生!?
なっ…何でこんなときに正面から！しかもよりによってクラスメイトって！
とにかくまずは一旦隠れないとっ…
おばあさん？
どうしたんですか？急に止まって…
あえっと
ダメだ…！今は孫もいるからおばあちゃんとして行動しないと…

でも このままだと
私の完全記憶の
ことがバレてしまう！
全て終わる…っ
大丈夫よ
何でもないわ
カッコとかと
よくしゃべってる
古文の頭のいい子
いたじゃん？
なんとか誤魔化して
会話を最小限に
するしかない！
でテストの時に
早く終わってー
早弁して しかも
制服にコロコロ
したらしいよ
えーコロコロ？
コロコロ何ー？
あれあれ！床の
ゴミとかとる
掃除するヤツ
コロコロー
マジ？
超頭いい
じゃん
え～
嘘だー

あ　そうか…

バカだなぁ
自分でまいた種じゃんが

冊田空なんて女の子はいない

？

おばあさん？

もしかして気分が悪くなって…大丈——

もう私には
これしかない
ふふ ごめんなさい
ぼぅとしてしまって
そうそう私
大切な事を忘れていたわ
真に渡したい物があってね
え?
さ
行きましょ
おばあちゃんを
演じるしかないんだ

ちょっと家に
用があってね
ここで待ってて

じゃ
行ってくる
わね

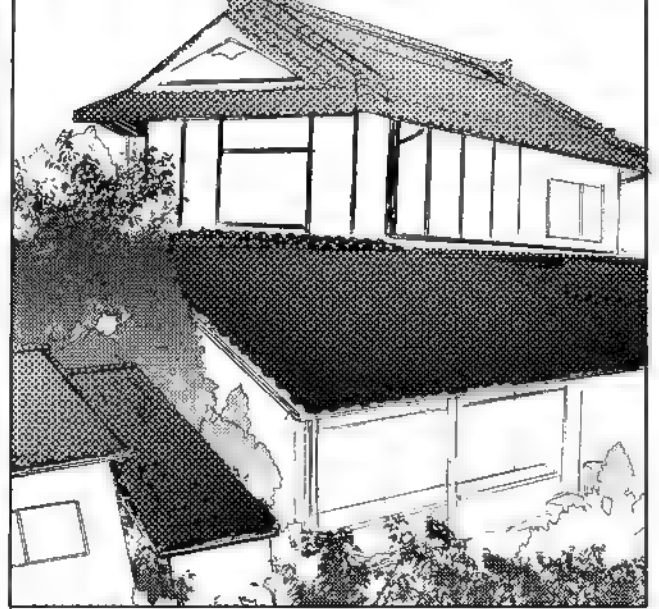
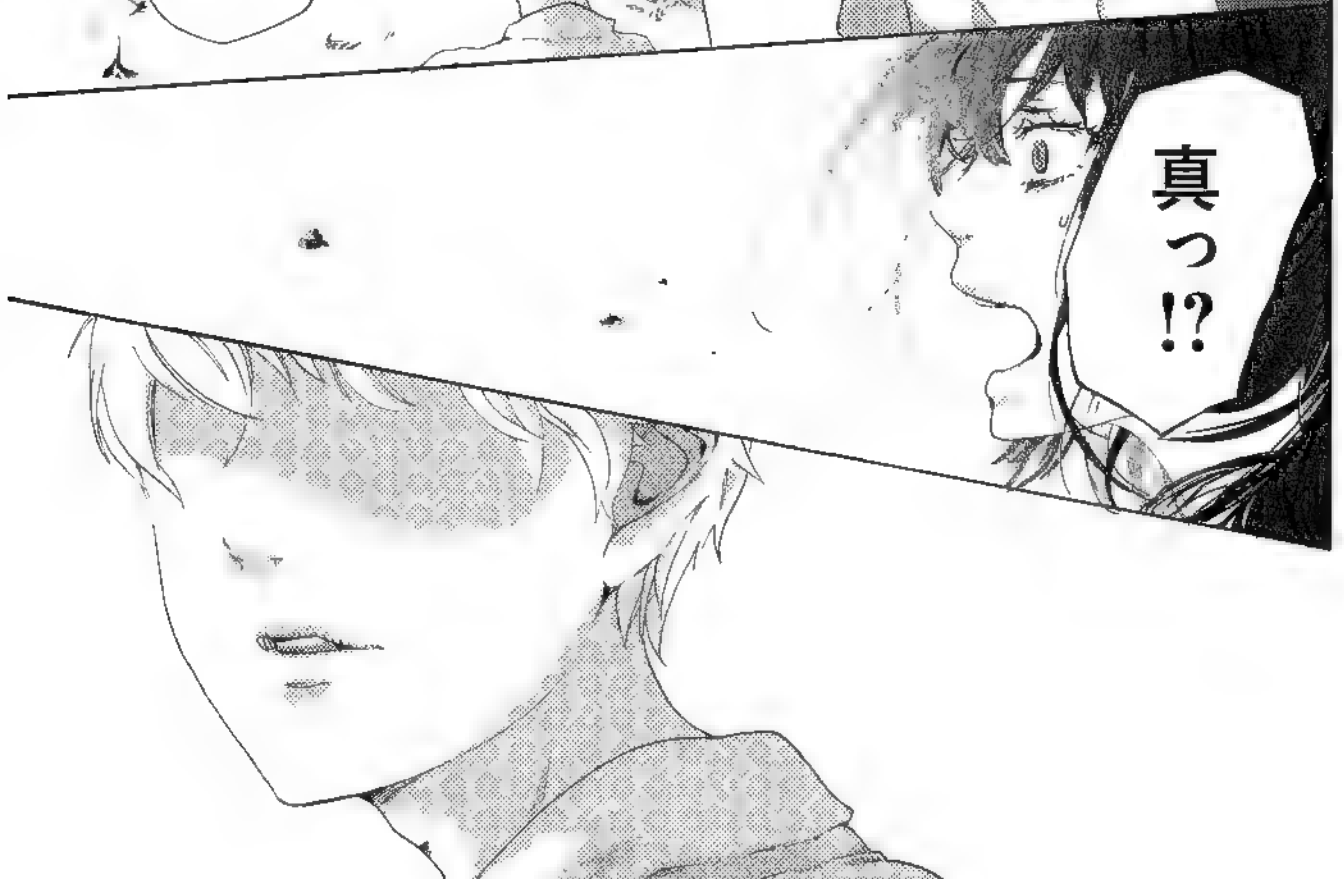
あ
はい……

65

おー

この箱も
お願い

あぁ

見た!? あの顔! 超母親似!
成る程 アレじゃあ つい湯呑みも 投げるわなぁ
え?
ええ なにを…
まさかここに 来るなんて ないよなぁー
孫!?
だって孫は 一人だけで
真だけで…
何を…言って …るの? 私に…ねぇ?
真っ!?

俺が偽物の孫だから
ははは 実は俺も「おばあちゃん」に頼まれてさ 孫の役
ごめん 吃驚した? ま 偽物同士一緒ということで許してよ
君のことは知ってるよ
冊田 空さん
だっけ?

覚えてない？
俺も昔
出てたんだけど
「スーパーキッズ」
っても君の少し前だし
完全記憶からしたら
対したことない
計算が速いだけの子供
ってレベルだったけど
それでも親は
期待するよね

でもそれで家庭
壊れちゃ意味無いん
ですけど

んで
家を出て 一人で
生きていこうと
思った矢先

『あらあらあなたが
孫のお友達?』

『不思議よねえ 孫とは16年間
手紙も電話もしたことは
ないのだけれど』

70

何が本当なのか
もうよくわからない

「孫を演じきれば
大金が手に入る簡単な
ゲーム」
ってか協力しないと
警察に通報するって
言われたらもうね
一件目でコレじゃあ
いずれ失敗するかも
しれないしね
ま 日当も出るって
言うから丁度良い
かなって
いやーだってね？
想定できないって
まさか実の孫に
対して接近禁止
命令が出てるなんて
えっ
接…近禁止？
え？ 禁止って…

えっウッソ
もしかして聞いてない？
うわーばあさんー
大事なとこだろ
ここ言っとかないとー
き聞いて…
ない…です
じゃぁまさか
去年11月に
余命半年って
宣告された事とか？
え？
えっと
…
えー 一番肝心なとこ
伝えてないんだから
なーもう…
あーあ…

君騙されちゃったね
え ええ あ…
えっと

どうしたらいいんだろう
いやいや落ち込まないで
実際 凄かったジャンホラ喫茶店のヤツとかマジでばあさんの90年分全部覚えたの？
すげー記憶力
俺正直 孫の1年分だけでもキツかったわ
何を言えばいいんだろう
いや俺の仕事は騙す方なんだけどね？
孫のキャラとか知らないけど
何を思えばいいんだろう
って俺ばっかしゃべってるし
いやーホント…

本当にばあさんと
居るみたいだった

ちょっ！
まっ…!!
待って待って!!
ダメじゃん
不法侵入になるって！
早く戻ろう！
やっぱ…
おかしなった
おかしなった
俺のせい？
とりあえず
話はきくから
向こう行こーね
っ孫
にっ!!
遺産っ
渡すのっ…
もう
騙したりっ
悪いこと！
あーそこね
遺産は
惜しい
いや今貰ったら
流石に犯罪に
なるんじゃん？
ちっ相続税
取られろっ
して欲しく
無いからっ!!

…は
何？何渡してんの？勝手に…
…さっきの話で同情した？悪いけどそーゆーの…

違うよっ…
おばあちゃんがっ… そう…っ思ってるんだよっ!!
嘘じゃない! 適当じゃないよっ… 私はっ 全部憶えたから…
本当にっ… 心配っしてしててっだから
3月5日…
え?
3月5日 藤白依の日記!!
ビクッ
ひえっ!?
あ…えっと 3月5日 ……っ
あわあわ

「五時起床、晴天。着物を整理しようとした際に一本の電話。」
ええと…ここで少し飛んでいて…
「来訪者一名。。客人を招くのは久しい…今日この頃は…
他に何か記述は!?
あ、えっと手帳に書いてあった…「今日はとても良い買い物をした。」
「私にとって今日の出来事は僥倖であった。妙案を実行する時が…
「現時点において試す価値はあるかもしれない。」
次は3月10日!
あ…「三月十日、曇りのち晴れ友人が遊びに来る。」
「お茶を出すと苦くて飲めなかったようである。」
「まるで沼のようだと言っていた。自分では全然気がつかなかった。」
「それにしても面白い例えをする。ついつい笑ってしまった。」
「三月十一日、曇り、夕方近所の子供が遊びにきてくれた。
一緒に夕飯を食べた。肉だ肉だと喜んでいた。その様子が素直でかわいらしいことだった。」
三月十二日、私ももうそんなに長くはないだろう。孫の為に何か…
…遺せるものがないか・と・」

誰だ!?
誰かいるのか!?
いやーすいません あ怪しい者ではないです 表のインターホン押したんですけど
誰もいらっしゃらなかったんで 裏から失礼しました
は? ずっといたけど?
本当すいません
あ 僕は 先日通夜 葬式にもお伺いした者ですが
これを貴方に渡すよう言われたので
はぁ それで何の用?
ええ 生前 貴方のおばあさまと多少の交流がありまして その際にいくつか言付けを預かりまして

いらねえ
何言われたか知らねえけど勝手に頼まれてんじゃねエーよ!
アイツ昔お袋と喧嘩して茶碗投げて当てやがったんだよ!まだ赤ん坊だった俺にだぞ!
見ろこの傷!
帰れ帰れよ!
小さな孫に酷いことをする
許される訳ない
鬼婆
馬鹿じゃないのか
軽率
身勝手
話を聞いた時に僕はそう言ったのですが

破棄して頂いても構いませんから

どうか受け取ってはもらえませんか

…っそんな

何…

そんな…
ばあさん…っ
これで
全部
終わった
…

…ほう～

やーっと終わったねぇ

……

お金…よかったの…ですか…？

いいも何もばあさんが言ったんだろ？

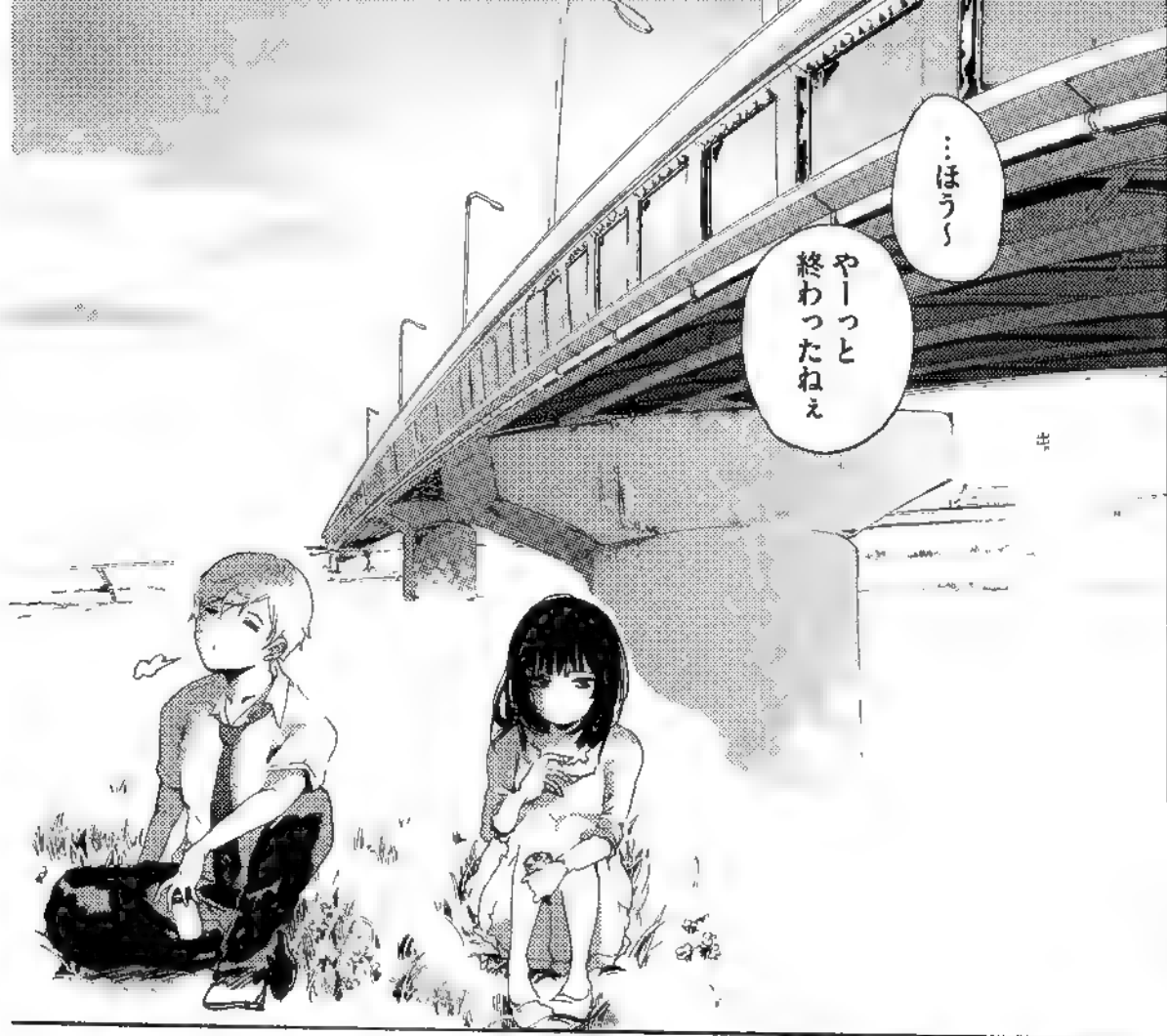
「好きに使っていい」って問題ないじゃん

別に俺が本物に渡しても

ルール上の事じゃなくって

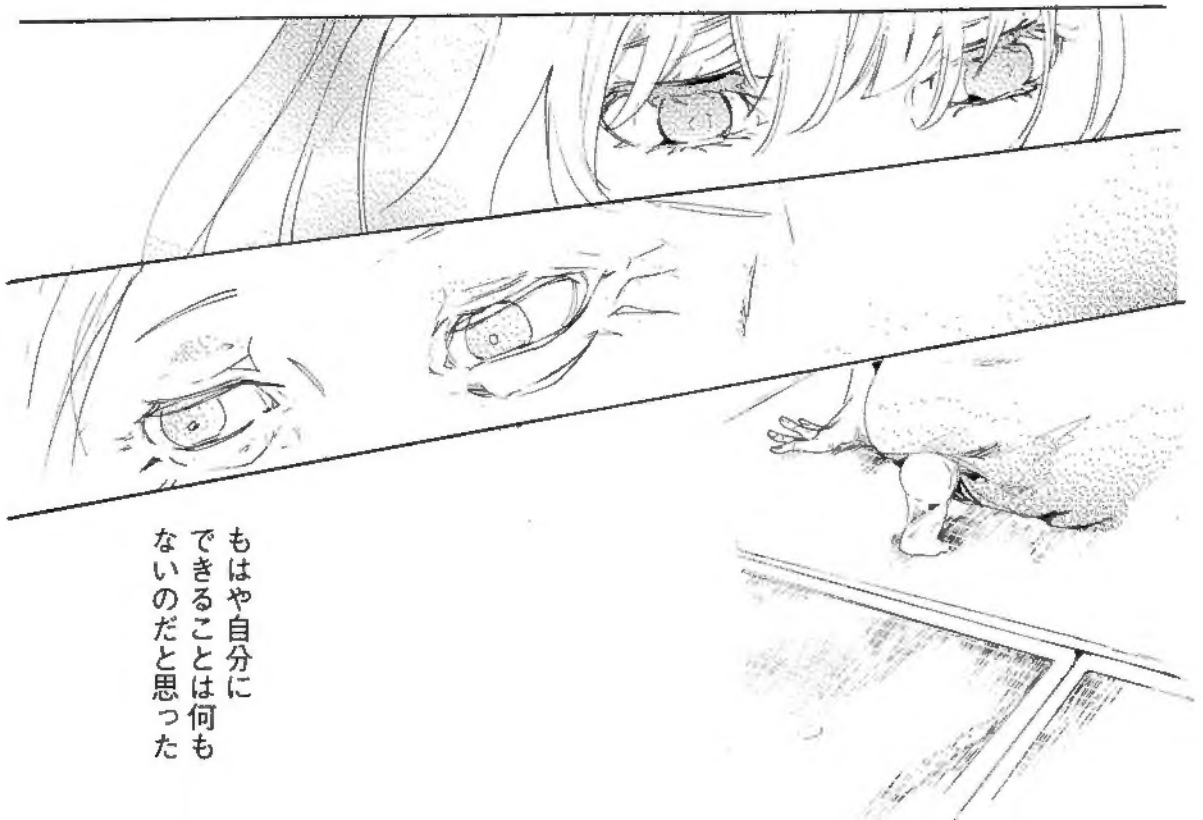
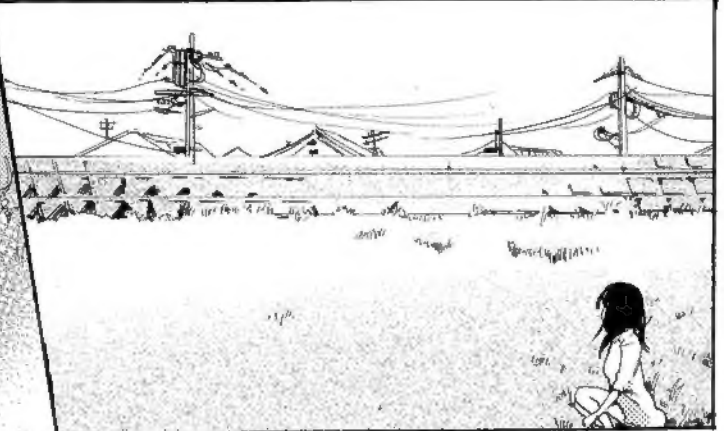
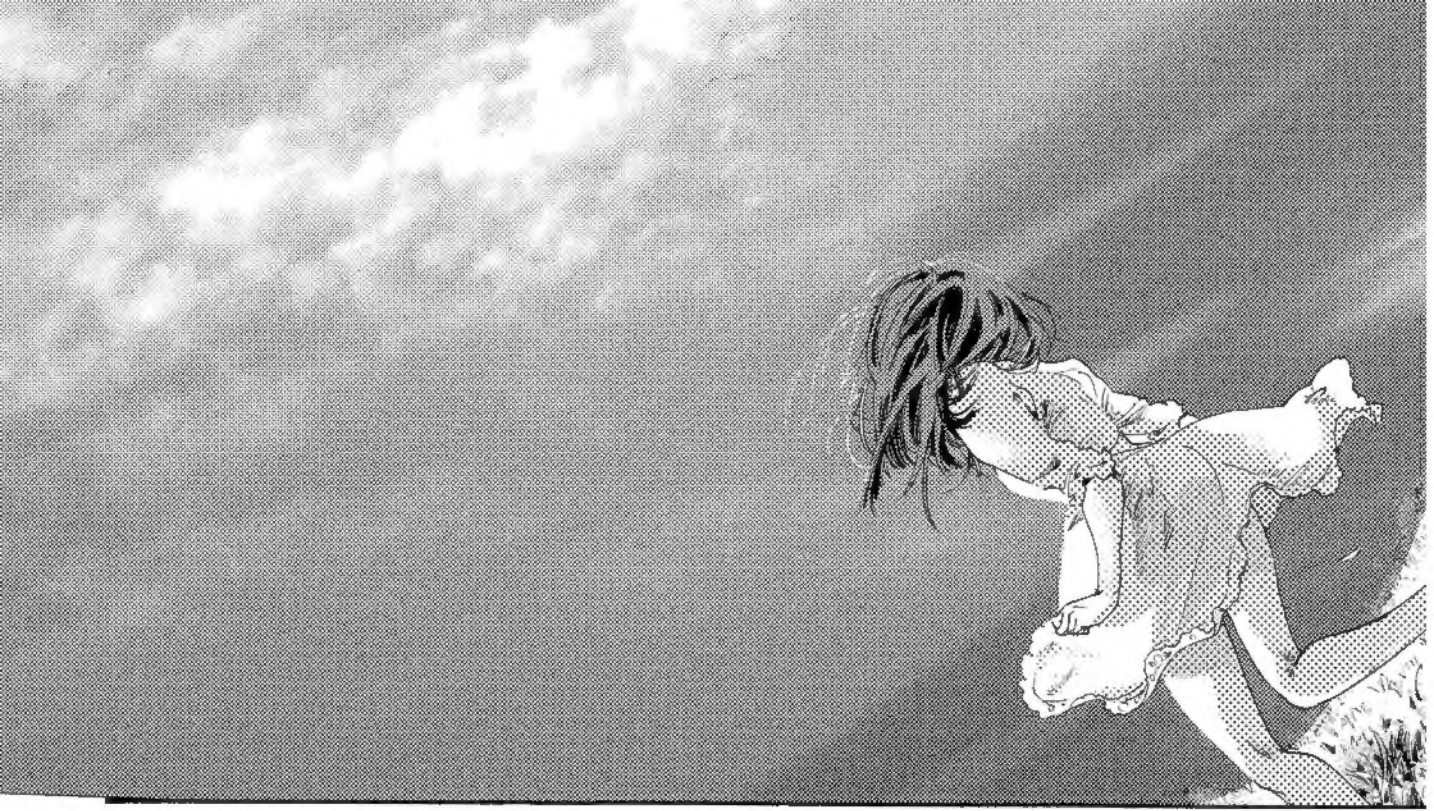
うっん．

それに

ホントの孫だったらそうするだろ

ってか 本物がいるとはなー もし本物が帰ってこなかったらフツーにもらってたわ遺産
本物の孫がいるなんて流石にばあさんにとっても想定外だったんだろうな
孫が帰ってこない前提で俺が孫役頼まれたわけだし
その体で言うと誰もルールに反してはいないのかな? 多分
だから
違約金とか発生しないよ 安心して
私は金銭ではやり取りしてないので…
83
ウッソー! 無料!? ボランティア!? あじゃあ物だ! 現物支給!
ちっ! 違います! ほんとにもらってませんっ!
えぇ!? そっか! 「お小遣い」だ! そうだろ!? それか「お釣り」で渡された!?
違います!! 1円ももらってないです!!
私はっ! 他の理由で 私は私に代わって おばあちゃんの 人格を 経験と思考が…欲しくて…
自分をやめたくて 始めて 学んで …でも……
でも ダメな方が 馬鹿な方が 残っちゃったよ

老い先短い老婆
金目当てのクズ
不登校の少女
面白いメンツ
揃っちゃったからね
最期に何か遺して
いきたかったん
じゃない？
多分 自分も楽しもう
ってのもあるん
だろうけど
…ばあさんが「騙した」
って言ったけど
なんて言うか別に
悪意があっての
事じゃないと思うよ
ってか
言ったのは
俺だけど
記憶力の超いい子がいるって
だから ばあさん知って
たんだよね 全部最初っから
「冊田空」って人間がいて
今は不登校でって
その上で声をかけたたから
可愛かったん
じゃない？
新しくできた孫が
って

え あ あの
俺おばあちゃんじゃないからよくわっかんなーい
じゃねー
もはや自分にできることは何もないのだと思った

だからこそ会いに
行かねばならないと
考える
最後の希望に
ここから
始める為に

待って！私っ！
まだっ話したい
ことが…っ
まだ…っ
名前もっっ
聞いてなっ…
待っっ
っ…
プーーー
はかられた!?
!?
五月七日　晴天
少しの不安
希望 高揚

老婆と少女が出会う
それは
自分の未来を
託すためだった

しかし
その子が「消えたい」
などと言うものだから
罪悪感も和らいで
しまった

平穏と惰性の端
未知との遭遇

これは単なる
感覚にすぎない
けれど

記憶に託した想い。それは少女の幸福だった。

きっと先の日々
この女の子には

希求と祝福があるのだ
そう確信したのだ

回転クオリア　おわり

応援、感想のお便りお待ちしています。